



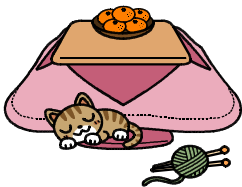
深谷市立川本南小学校
第5学年 学年だより
俳句号 NO. 14

平成28年12月21日(水)

俳句をつくろう

国語「短歌・俳句をつくろう」の学習で、子どもたちが冬をテーマに俳句をつくりました。季語を選んだり、比喩を使ったり、なかなかの力作です。全員の俳句をもとに、俳句品評会を行いました。すべての作品のなかから気に入った作品を3つまで選んでもらいました。よい作品が多く、どの子も選ぶのに悩んでいる様子でした。中でも多くの友達に選ばれた作品と合わせて、全員の作品を紹介します。

最優秀賞	「 雪ふりて 辺り一面 銀世界 」	服部 友紀
優秀賞	「 窓の外 ふとん恋しい 朝の風 」	小澤 亮祐
入賞	「 雪だるま 一人ぼつと 考え事 」	丸橋 くるみ
入賞	「 書きぞめで たましいこめるぞ 一面に 」	峰岸 桃花
入賞	「 冬の朝 「行ってきます」と 白い息 」	持田 航汰
入賞	「 山景色 四季に合わせて 衣がえ 」	眞澤 麻琴



「 朝になり 寒い登校 手がまっか 」
「 ほっかほか 二つにわたたら 黄白色 」
「 青黒い 空のはしに 燃える赤 」
「 雪がふり 白い風景 広がるよ 」
「 もやときり 視界せばまる 冬の道 」
「 冬の星 夜空にかがやき 「こんばんは」 」
「 雪の朝 寒さ忘れる 冬げしき 」
「 冬になり 木は葉を落とし ひとりぼっち 」
「 木もれ日に 背を向け帰る 黒いかげ 」
「 冬になり だいじなことは 笑うこと 」
「 冬になり こたつでみかん さあ食べよう 」
「 柿の実を ひとつ見つめる 冬の鳥 」
「 しもがおり 白いわたげを 身につける 」
「 もち食べて ぼくのからだも かがみもち 」
「 雪の夜 夜空の下で キラキラと 」
「 秋すぎて 冬の夕やけ みかん色 」
「 あたたかい こたつはまるで アリじごく 」
「 土の下 きらきら光る しもばしら 」
「 ゆたんぼを だきしめてねる 冬の夜 」
「 冬の朝 路上の水も 氷かな 」
「 雪がふる みんな遊んで おおはしゃぎ 」
「 東空 なんだかまぶしい 冬の朝 」
「 まどの外 白い世界が 見えてくる 」
「 つもる雪 朝日照らされ 宝箱 」
「 しもばしら 土を持ち上げ 力もち 」
「 冬きたる 外へ集合 かまくらに 」
「 冬なのに 夜空に花火 秩父夜祭り 」
「 朝つゆが 寒さでこおり 水晶に 」
「 外の木は 寒い寒いと こし曲げる 」
「 きらきらと この身におちる 雪げしょう 」
「 めざめれば 冬の景色 真っ白だ 」
「 やきいもの においひろがる 食べたいな 」
「 冬の夜 北風ピューピュー ふいている 」
「 冬の朝 あくびと一緒に 白い息 」

相川 穂果
青木 心之介
青木 晟介
飯野 翔太郎
飯野 ひかり
井上 知也
大澤 来世
神山 凜奈
菊池 明日香
木村 光希
木村 美結
國分 雅翔
小嶋 桃嘉
佐伯 大成
佐藤 凜玖
芝 瑞貴
柴田 薫
清水 貴仁
関口 萌花
瀬下 大貴
富田 菜摘
萩原 剛
橋本 凱斗
橋本 真央
原 つばさ
本田 優愛那
本田 涼介
眞下 萌衣
眞下 葵衣
町田 碧人
松本 春香
松本 聖翔
松本 悠聖
峰岸 美弥